



「地域学校協働活動推進員」って知っていますか？

学校と地域の橋渡しをする「地域学校協働活動推進員」
(以下、「推進員」)さん。現在、市内全小中学校に1～2
名が配置されています。その推進員さんに聞きました。

1. 配置校はどこですか？

二日市中学校です。



帆足 雅子さん

2. 推進員になったきっかけは？

就任当時、お声かけをいただいた校長先生が、二日市中学校に長く在職され、子どもたちのためにも尽力されていたので、私なりの恩返しができると思います、お引き受けしました。

3. 主にどんな活動(具体的に)をしていますか？

地域の有志から成る「樁の会」とPTA、校長先生、教頭先生方と共に度々打ち合わせをし、子どもたちにとって必要な「人・もの・こと」とつなぐことを支援しています。昨年度はバレー部の生徒さんに救命講習会を実施することができました。



「救命講習会」実施の様子

4. 活動してみても嬉しかったとは？

校長先生や教頭先生方と活動のために度々打ち合わせをしますが、「学校の授業ではできないけれど、子どもたちにとっては必要なこと(体験)をしたい」という要望があり、それが実現したときに、大好きな「二日生」の役に立てて嬉しくなります。

5. 活動してみてもよかったことは？

推進員という活動の幅が余りにも広く、仕事をしながらではたいへんなところもありますが、自分なりのスタンスを模索中です。

6. 将来、やってみたい活動は？

ただただ悩みを聞いて欲しいだけ、誰かと話がしたいだけという、生徒、保護者、教師、地域の方などが、何となく行ってみようかな...と思える「オアシス」のような居場所を、二日市中学校の校内に設けることが夢です。風通しの良い、一息つける場所を作ってみたいです。

7. 地域・学校の声

推進員の方に学校と地域のつなぎ役として活動していただいていることで、地域の情報がよくわかるようになりました。また、学校では普段できない行事(救命講習会など)を企画していただき、教師の負担軽減にもつながっています。

(二日市中学校 岩切 優子校長)